

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こばんはうすさくら江戸川台教室(児童発達支援)

公表日 令和7年11月20日

保護者数 17

回収数(回収率) 16 (94.1%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14件	1件		1件	・十分な広さがあると思う	庭もあるので、人数や活動に応じて活動場所を使い分けたり、室内ではパーティションで区切ったりして活動しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14件	1件		1件	・先生の人数が多く、安心している	適切な人数を配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11件	3件		2件	・門の入口が階段なのでバリアフリーとは言えないが、生活空間は工夫されていると思う。	利用児に合わせて配慮しています。絵カードや写真、時計を使って、視覚的にも理解が進むようにしています。また、パーティションを活用して、活動場所を区切ることで集中しやすい環境を整えています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15件			1件	・いつも清潔に片付いていると思う	毎日の掃除・消毒、週ごとの消毒をチェックリストを用いて取り組んでいます。絵カードで収納場所を示し、こどもたちが使ったものを自ら片付けられる空間にしています。また、活動の動線を考えて、物の配置を決め、安全に過ごせるように配置しています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13件	3件			・写真などがなく、支援の様子がイメージしにくいです。 ・絵カードや写真も使って子どもの特性に合わせて貰っている	定期的に職員の研修や勉強会を行っています。また、日々の振り返りでは、子どもたちの様子から課題や成長面を共有し、共通理解を持って支援できるようにしています。 こどもたちの発達に合わせて、同じプログラムでも取り組み方を工夫しています。 支援の写真については、モニタリング時に写真を見ながら活動の様子をお話しています。毎月のこばんはうすさくら通信でも、写真付きで活動の様子をご紹介しますので、ぜひご覧いただきたいと思います。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14件	1件		1件	・毎月のイベントカレンダーはどの媒体で見ることができますか？初めての月は紙面でいただいたので子供と一緒にワクワクできたのですが、次月から確認方法がわからずじまいです。(面談の時に伝えれば良かったのですがすいません) ・いつどんな内容をするのか分かりやすく書かれているのでいいと思います。	公表しているプログラムに沿って支援をしています。 毎月の予定については、アプリの活動記録内の「お知らせ」で毎月お知らせしています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15件	1件			・こちらで伝えたことを計画に入れてもらっている	児童発達支援管理責任者や職員間でのカンファレンスを行い、保護者の方やこどもたちとのコミュニケーションも大切に個別支援計画を作成しています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13件			3件		成長の段階でその時に必要な支援を行えるように、家庭や関係機関と情報の共有や連携を行っています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13件	2件		1件	・計画に沿って取り組んでいると思う	個々の発達に合わせた有益な療育が行えるように計画しています。職員一人一人が、それぞれの支援計画に沿った支援が行えるように、日々の振り返りや朝礼、昼礼での情報共有を大切にしています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14件	1件		1件	・毎月工夫されていると思う	プログラムは季節に合わせた活動を心がけ、食育は旬のものを取り入れるように工夫しています。イベントや外出も、曜日ごとに偏りが出ないように計画していきます。

	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7件	2件	1件	6件	・通い始めたばかりなので、今のところはない。	現在、他の施設との交流の場を設けてはいません。感染症の流行状況なども踏まえて、今後の課題として検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15件	1件			・契約時に説明がありました	契約時に管理者や児童発達支援管理責任者からご説明させていただいています。運営規定は施設内にも掲示されています。支援プログラムは毎月におたよりでお知らせし、利用者負担額は変更があった際には再度作成してお渡ししています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16件				・面談時に説明されている	保護者の方に分かりやすいように、支援計画を示して説明させていただいています。必要に応じて、支援計画の見直しも行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6件	2件	4件	4件	・相談すれば自宅での対応なども教えてもらえるし、保育園とも連携してくれている	お悩みやご相談があった場合は、電話や個別面談で相談に応じています。内容によっては、関係機関とも連携していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	11件	5件			・アプリで連絡取っている	送迎時だけではお伝えきれないこともあるので、職員と連携しつつ必要に応じて児童発達支援管理責任者より連絡させていただきます。保護者の方からのご相談はいつでも受け付けています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10件	3件	1件	2件	・通い始めたばかりなので、今のところはない。 こちらから聞けば丁寧に答えていただけます。いつもありがとうございます。	半年に一度の面談の他、必要に応じて面談や相談を受け付けています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13件	1件		2件		支援計画を中心に、ご家族や子どもたちの想いを大切に支援できるよう、振り返りやミーティングで職員間の共通理解を図っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3件	2件	6件	5件	・まだ、参加していないので分からない	コロナ以降開催しておりませんが、感染症の流行状況を注視し、今後の開催を検討していきたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13件	1件		2件	・電話やアプリで対応してもらっている	保護者の方からの連絡・相談については連絡表に記入し、児童発達支援管理責任者はじめ職員間で共有するようにしています。必要に応じて、児童発達支援管理責任者から連絡させていただくようにしています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15件			1件		ご自宅や園、他事業所での様子を共有いただいた際には職員間でも情報を共有しています。また教室でも気にかかることがあった際には、児童発達支援管理責任者からお電話等で連絡させていただくようにしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14件	1件		1件		「こぼんはうさだより」で毎月のプログラムやお知らせを、「こぼんはうさくら通信」で前月のこどもたちの様子を写真付きでご紹介しています。今後も、活動の予定や様子を分かりやすくお伝えできるようにしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15件			1件		個人情報の取扱いについては、職員研修などで指導しています。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13件	1件		2件	・契約時に説明をされた	各マニュアルは施設内に掲示されています。また、発生を想定して、年間計画に基づいて訓練を実施しています。必要に応じて、感染症流行期等は臨時に訓練や研修を行います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15件			1件	・避難訓練があり、自宅で地震の際も机の下にもぐることができた	定期的に避難訓練やBCP訓練・研修を行っています。定期的に行うことでこどもたちもスムーズに避難できるようになってきているので、今後も各種災害を想定して訓練を継続していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13件	1件		2件		安全計画についても施設内に掲示されています。保護者の方にも、おたよりや通信を通じて、計画や実施報告を行っています。

	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12件	1件		3件	・転んだり、着替えたりした際にも、様子を連絡いただいている	怪我や体調不良等があった際には、速やかに保護者の方にお電話で連絡させていただいています。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16件				・こぼんに行く日をワクワクして待っている	不安感のある保護者の方、こどもたちには、丁寧にヒアリングを行い、原因を取り除けるようにしています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15件			1件	・カレンダーで確認して楽しみにしている	楽しみながら療育に繋がっていくようにプログラムを計画し、「できた！」を積み重ね、自己肯定感を育んでいきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14件	2件			・時間が短いのが少し不満です。	今後もご満足いただける支援を行えるように、職員間で連携し、療育を続けていきます。 時間については、こどもたちの体力や療育以外の活動も考慮した時間となっております。決められた時間の中でも充実した活動にしていけるよう、職員のスキルアップ、知識や技術の向上を目指します。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こばんはうすさくら江戸川台教室(児童発達支援)				公表日		令和7年11月20日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	・十分なスペースを確保している。死角となる場所があるので、常に目が届くように注視している。	・泣いてる子やパニックになるこどもがいた場合に、教室内のスペースの区切り方に工夫が必要。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	・余裕を持った職員数で支援している。また、こどもに合わせて人数を多めに配置して対応している。	・個別対応が必要なこどもがいた場合に、全体を見る職員とコミュニケーションをとって死角がないようにする。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	・絵や写真を表示して、視覚的にも分かるように工夫している。危険がないようにロックや仕切りをしている。	・利用するこどもによって配置や対応を臨機応変にしていこう。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	・チェックリストを用いて、毎日清掃、消毒をしている。 ・そうじした物や日付を記録して一覧を作っている。	・冬場の換気・加温はエアコンの効いている中で工夫が必要。 ・熱中症の心配などもあるので、室温についての注意と、エアコンの清掃管理が必要だと思う。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	・状況に応じて個室またはパーテーションなどで空間を仕切る工夫をし、使用している。	・複数人が別室対応が必要になった際の優先度なども確認しておく。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	0	・朝礼での確認と、終礼で振り返りを必ずしている。 ・毎日支援後にミーティング(振り返り)を行い、ノートに記入して、いつでも見られるようにしている。	・シフトの関係で全員参加は難しいし、短時間パートの先生の意見を聞き取りにくい場合があるので、時間などを工夫していく必要がある。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	・毎年アンケートを職員で共有し、改善につなげていく。	・より多くのご意見をいただくために、アンケートの回収率を上げる工夫をする。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	・日々の朝礼昼礼でも意見交換をしており、年に1回アンケートを行い職員で共有し、改善につなげていく。 ・定期的なミーティングや面談がある。 ・振り返りやミーティングで意見交換等を行っている。	・日頃から風通しの良い職場環境を心がけ、意見集約時に意見を出しやすい環境を継続的に整えておく必要がある。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	0	・こばんはうすさくら本部の訪問が定期的であり、指導を受けている。	・評価いただいたことを実践し、継続していく。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	・社内勉強会の他、本部研修、市や外部の研修にも積極的に参加をしている。 ・研修に行った職員が、他の職員にフィードバックしている。	・支援とのバランスもあり、全員一気に研修を受ける機会を設けることが難しい場合もある。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	・こばんはうすホームページに公表しており、利用者の保護者にはHUGシステムを利用して送っている。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0	・児童発達管理責任者が作成した支援計画に設定されている。一人ひとりの発達段階、課題に合わせ支援ができるよう共有している。 ・保護者や職員からの話を聞いて、計画に取り入れている。	・こどもと保護者のニーズにずれがあった際に、着地点を探していけるように、より客観的な視点を持つ。その視点を持つために、日頃から研修等で研鑽を重ねておく。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	・児童発達管理責任者が、保護者の面談と直接支援している職員からの聞き取りを基に計画を作成し、職員に共有している。	・シフトにより、全員参加での検討が難しい場合もあるので、普段の振り返りなども上手に使っていく。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	・児童ごとに作成された個人ファイルの内容を職員が把握し、支援している。 ・支援計画をプリントアウトして保管し、情報を共有している。	・机上の計画にならないように、計画と実際の日常とを照らし合わせて、現場での支援に反映していく。			

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	・どちらも確認している。	・状況や教室に見合った内容に変更するべき部分は相談しながら進めていく。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	・児童発達支援管理責任者が作成した支援計画に設定されている。一人ひとりの発達段階、課題に合わせ支援ができるよう共有している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	・児童発達支援管理責任者と管理者を中心に、職員と相談しながら立案、準備運営を行っている。	・なるべく多くの職員が関われるよう、時間や意見の出し方を考えていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	・季節に応じ毎月異なるプログラムを作成、曜日で偏らないよう工夫している。 ・前回と行う曜日を変えたり、子どもの発達段階に合わせて変化を持たせている。	・様々な職員の意見を聞いたり、こどもたちの様子を見て、次回のプログラムに活かしていく。そのために、振り返りを充実させていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	・発達段階などに応じ、個人の目標、集団での目標を決め、計画している。 ・一人で集中して行う活動、集団で行う活動を組み合わせで行っている。	・発達段階に開きが大きいので、集団の作り方を工夫する必要がある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	・朝礼を必ず行い、役割の確認及び、留意する子どもの伝達をしている。朝礼、昼礼、連絡ノートなどで確認している。 ・途中出勤の職員へもその日の流れを伝えている。	・途中から入る職員がいる場合は、支援リーダーのもと確認していくが、タイミングが難しい場合もある。その日の職員の経験や能力を考慮して、最適な配置を心がける。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	・終礼を必ず行っている。振り返りノートを活用し、その日出勤していない職員にも共有している。	・短時間で充実した振り返りになるように、話し合うポイントを押さえておく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	・振り返りノートを活用している。 ・振り返り用のノートやヒヤリハットなどを共有し、改善策をとっている。	・課題になることはなるべく早く児童発達支援管理責任者と相談していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	・半年に1度モニタリングの他、必要があればそれ以外でも見直しを行っている。	・必要があれば期間中にも都度見直ししていく
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	・児童発達支援管理責任者が参加し連携している。	・会議に参加後、職員へすばやく情報共有を行うようにしていく。支援に活かしていけるようにしていく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	・児童発達支援管理責任者が直接訪問したり、相談支援専門員の先生を通して連携している。 ・服薬情報など、保護者を通して共有している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0	・児童発達支援管理責任者が直接訪問したり、相談支援専門員の先生を通して連携している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0	・児童発達支援管理責任者が情報共有を行っている。 ・就学時に情報共有のための資料を作成している。 ・子ども達が困らないように、次に移行する場所へ情報を共有している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				

	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10	0	・センターの担当者と連絡したり、保護者や保育園を通して連携している。	・研修会には、児童発達支援管理責任者だけではなく、様々な職員がいけるようにしていきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	2	・系列の他事業所と合同で行う行事があり、いつもと違う子たちともかかわる機会を設けている。	・地域の他のこどもたちとの交流は、感染症や安全面を考慮し難しいことも多い。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	・電話相談やHUGシステムのチャットを活用し、共通理解を持っている。送迎時はゆっくりと時間がとれないので、児童発達管理責任者から連絡するようにしている。	・自宅と事業所では、こどもの姿が大きくちがう場合もあり、なかなか共通理解につながらないこともある。丁寧な聞き取りや説明が必要。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	3		・保護者との関係作りがとても重要。寄り添いながら進められるように更なる学びが必要。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	・書面を作成のうえ、ご説明している。 ・その都度行っている。	・保護者によって理解度が違うことがないように配慮していく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	・児童発達管理責任者が面談し、ご意向を確認した上で作成している。 ・計画書にお子さんの意見を書く欄もある。	・こどもの最善の利益について、理解を深める。こどもの最善の利益は、現場ではどんなところか、その観点を持てるように研鑽していく。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0	・面談で説明し、同意のサインを得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	・モニタリング以外でもHUGシステムを通じてご連絡いただいております。適宜対応している。 ・なるべく早く連絡をして解決できる様にしている。	・悩み等を相談いただけるよう、日頃からの信頼関係の構築に努めたい。また、相談内容によっては、適切な機関につなげていく必要があるため、関係する機関を把握しておくことも大切。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	4		・現状は感染症が流行してからには行っていない。状況を見ながら保護者の交流会を検討していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	・チャット機能を使えるようになり、以前より気軽にご連絡いただけるようになったと思う。対応記録をとり、職員に共有している。 ・必要に応じて電話相談や面談を行っている。 ・迅速に行うことを心がけている。	・小さなサインを見落とさないように、日頃から関係の構築を心がけていく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	・毎月こぼん通信(プログラムのお知らせや活動報告)をHUGシステムで配信している。写真付きで工夫している。	・アプリでの配信になって、通信や連絡に気が付きにくい保護者の方もいらっしゃるようなので、丁寧に伝えていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	・定期的なミーティングで取り扱いについて確認を行っている。鍵付き書庫で保管し、個人情報の持ち出しは禁止されている。 ・個人ファイルのキャビネットには鍵をかけ、書類はシュレッダーで処分している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	・保護者にチャットでご連絡したり、送迎時にコミュニケーションを取っている。絵カードを利用するなど、分かりやすく心がけている。 ・相手が理解できるように工夫して伝えている。	・支援計画やアプリの使い方など、もっと分かりやすくお伝えできるようにしていきたい。休みの連絡や予約時に、戸惑いのある方もいらっしゃる。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	10		・児童の安全や感染症の危険があり、開催は難しいと感じる。いい方法があれば検討したい。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	・マニュアルは事務所のわかりやすいところに掲示している。訓練は定期的に行い、内容の記録や反省点を話し合いをしている。 ・決められた以上の回数を訓練に当てている。	・マニュアルの数が多く、どういった時にどのようなマニュアルのどこに書いてあるのかを探すことが難しい。普段から使えるように、分かりやすいタイトルや目次を付けて、探しやすくしておく必要がある。

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	・業務継続計画(BCP)を策定し、避難訓練はプログラムに取り入れて行っている。 ・BCPを策定し、定期的なBCPの訓練、研修を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	・契約時や面談時に保護者に確認している。 ・年に1度フェイスシートにより確認を行っている。 ・確認して、職員に共有している。	・リアルタイムで情報を得る必要があるの で、日頃から服薬情報や発作のあったことな ど連絡が欲しいと伝えていく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	・契約時や面談時に保護者に確認しており、 アレルギーカードを作成し、おやつの際はダ ブルチェックを必ずしています。	・リアルタイムで情報を得る必要があるの で、日頃からアレルギーの追加やアナフィラ キシーショックのあったことなど連絡が欲し いと伝えていく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	・研修、必要な措置を講じている。 ・安全計画を作成している。	・想定外のことも起こりえるので、様々な場 面を想定して、教室内で準備をする必要があ る。イメージの共有も大切なので、丁寧に打 ち合わせをする時間を作る。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0	・避難先場所の共有、緊急連絡先の登録を1年 に1度確認・更新している。	・避難所は場所の確認だけではなく避難所ま での通路も、複数の職員で確認しておきた い。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	・ヒヤリハットファイルを使い、共有してい る。 ・ヒヤリハットを記録し、共有している。再 発防止にすぐに対策している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	・年に1、2回の研修、都度のミーティングを 行っている。 ・年に2回チェックシートを用いて確認してい る。	・机上だけではなく、日常と結びつけて対応 できるようにしていく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0	・支援計画に記載、説明している。	・状況が変わった際には、身体拘束を解除す るように保護者、本人、職員間で共有する。